

第40回

教育月間全体会

令和元年11月13日（水）

# 全国学力・学習状況調査から見る 柏原市児童生徒の学力について

1

柏原市教育委員会  
指導課

# 本日の流れ

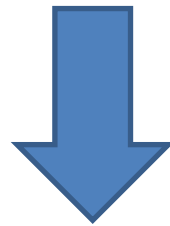
- ①全国学力・学習状況調査とは
- ②児童・生徒からのメッセージ
- ③国（文部科学省）からのメッセージ
- ④まとめ

# ①全国学力・学習状況調査とは

## <調査の目的>

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

# 「児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、**教育施策**の成果と課題を検証」



「〇〇な力」を高めるためにこんな授業をしよう！



先生

「〇〇な力」を高めるために学校全体で〇〇に取り組もう！



学校

# ねらいをもった 学校の取組み 市の取組み 授業

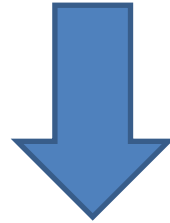
こんなことができる  
ようになってきて  
いるよ！



「〇〇な力」には  
課題があるよ！



児童・生徒の  
できていること      課題があること



全国学力・学習状況調査の結果  
を分析することで明らかにする

学習指導要領  
の領域等

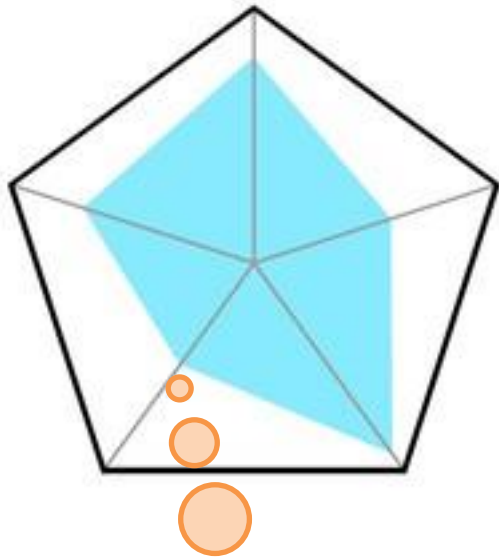
評価の観点



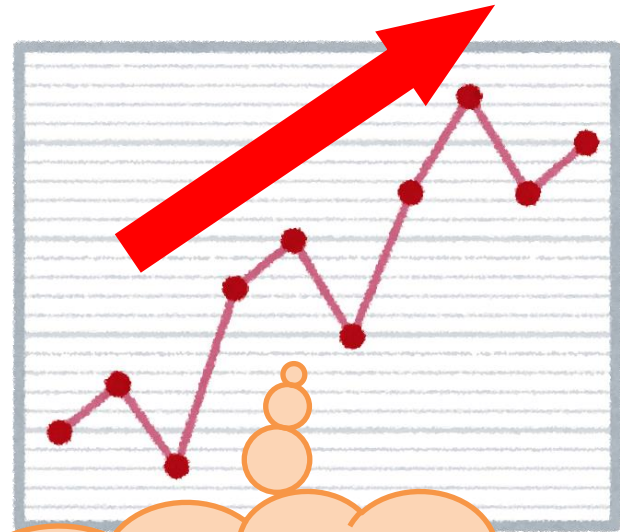
問題形式



# 「数値」に基づいた 効果検証



「○○な力」には  
課題があるよ！



こんなことができる  
ようになってきて  
いるよ！

# 全国学力・学習状況調査とは

児童・生徒からの  
メッセージ

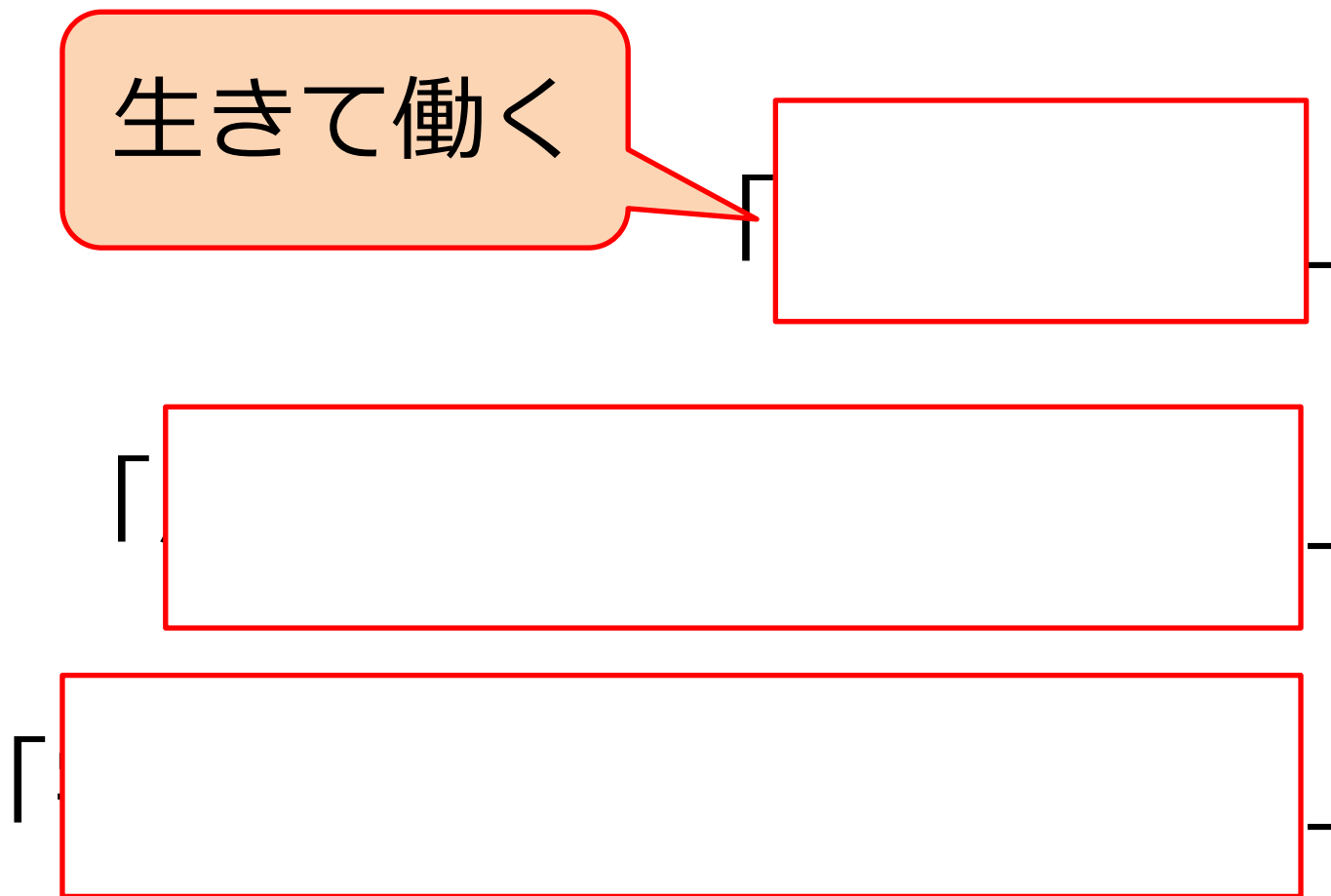
新しい学習指導要領が求める、  
「育成をめざす資質・能力」を  
ふまえ、それを教育委員会や学  
校に対して具体的なメッセージ  
として示すものとなるよう検討  
を進める。

(国立教育政策研究所「調査問題作成に当たって」より一部抜粋)

# 新学習指導要領における

## 資質・能力 3つの柱

生きて働く



学びを人生や社会に生かそうとする  
**学びに向かう力・人間性等の涵養**

よりよい社会と幸福な人生を切り拓き  
未来の創り手となるために必要な  
**「生きる力」**を育む

生きて働く  
**知識・技能の習得**

未知の状況にも対応できる  
**思考力・判断力・表現力等の育成**

国（文部科学省）

子どもたちが安心して学べるよ  
質・能

問題

教育委員会、学校

# 全国学力・学習状況調査とは

児童・生徒からの  
メッセージ

国（文部科学省）  
からのメッセージ

## ② 児童・生徒からのメッセージ



## (1)小学校 国語

	柏原市	大阪府	全国
全体の正答率	62%	60%	63.8%

### ◎分析概要

全ての項目において、全国平均に及ばなかったものの、大阪府の平均正答率は上回っている。

#### ★課題★

「言語についての知識・理解・技能」

漢字(同音異義語)

接続語

## (2)小学校 算数

	柏原市	大阪府	全国
全体の正答率	67%	66%	66.6%

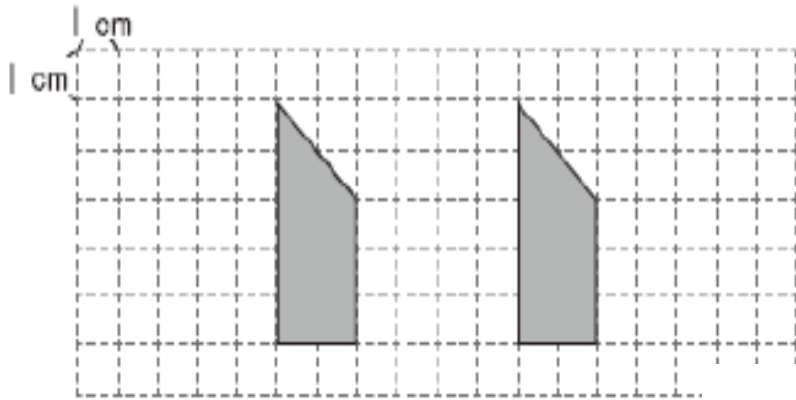
### ◎分析概要

全体の正答率について、全国・大阪府の平均を上回った。「数と計算」が特に◎

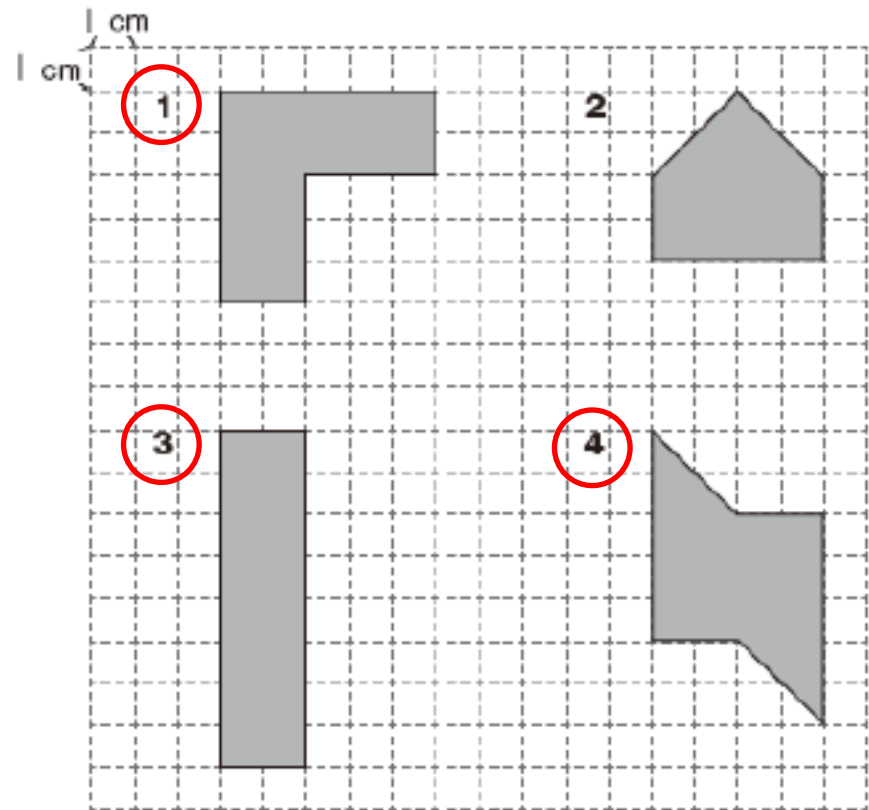
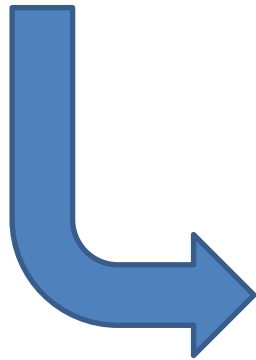
#### ★課題★

「量と測定」 「図形」

# ◎ 例えは. . .

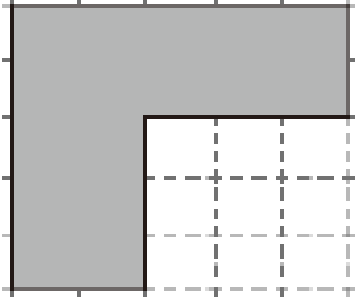


1 (2)

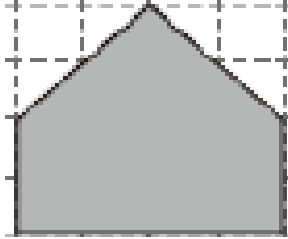


1 cm  
1 cm

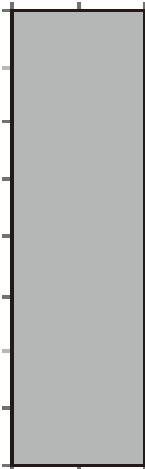
1



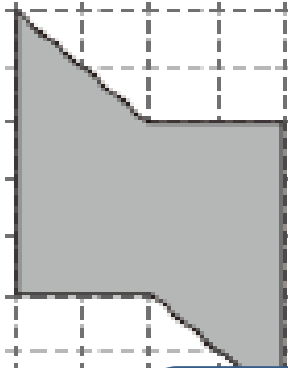
2



3



4



1 を選択  
84.7%

3 を選択  
77.6%

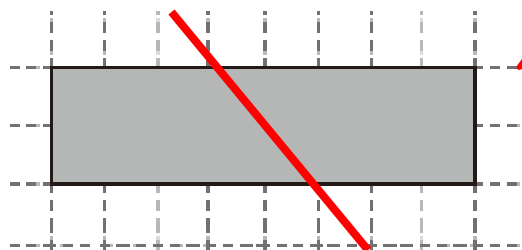
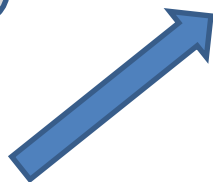
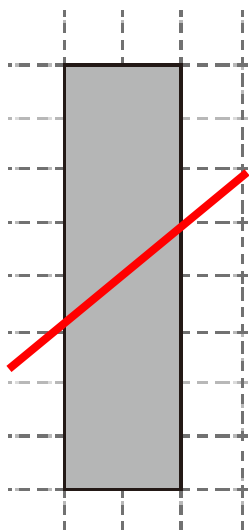
4 を選択  
94.3%

## ○柏原市児童の解答状況

	柏原市	全国
正答率	55.7%	60.3%

## ○もっと詳しく見ると…

3を選択  
77.6%



台形の面積  
の求め方

図形についての見方  
や感覚を豊かにする  
ことが大切！

### (3)中学校 国語

	柏原市	大阪府	全国
全体の正答率	70%	70%	72.8%

#### ◎分析概要

全体の正答率について、大阪府と同等。  
同一児童生徒集団の「書くこと」が向上。

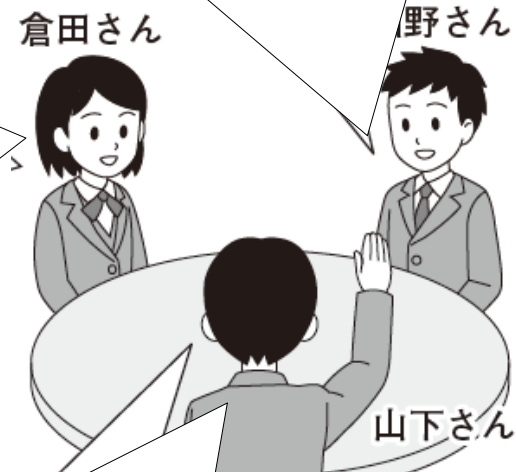
#### ★課題★

「話すこと・聞くこと」  
「読むこと」

## ◎ 例えは.

山下さんも気になっていましたのですね。それに、例年、展示や発表の場所が校内に点在しているので、見て回る経路の例を示した紙を配るとよいと思います。

賛成です。展示や発表の場所は美術室や体育館など校内のあちこちにあるので、長い距離を移動することに負担を感じる方がいると思います。具体的な経路の例は、展示や発表の場所が決まってから検討しましょう。それでは、今日の話し合いはここまでですね。



ちょっと待ってください。具体的な経路のことについては倉田さんの言うとおりだと思いますが、今回出されたことの中で、まだ、どうするか決まっていないことがあります。

A

## <正答例>

校内にある「土足禁止」という掲示物の表現をどのように直すのかについてです。

私は、文化祭に来てくださる方に対しては、「ここで靴を脱いでお上がりください。」のように直すとよいと思います。皆さんはどう思いますか。



## ○柏原市生徒の解答状況

	柏原市	全国
正答率	56.1%	60.4%

「話合いの話題や方向を捉えて  
自分の考えを持つ」力



- ・ 司会の進め方
- ・ 立ち止まり、整理する活動
- ・ 国語科だけでなく、様々な場面で進める

## (4)中学校 数学

	柏原市	大阪府	全国
全体の正答率	58%	58%	59.8%

### ◎分析概要

全体の正答率について、大阪府と同等。  
同一児童生徒集団の「数学的な見方・考え方」が向上。

#### ★課題★

「関数」  
「数学的な技能」

## (5)中学校 英語

	柏原市	大阪府	全国
全体の正答率	54%	56%	56%

### ◎分析概要

「聞くこと」について大阪府と同等。

#### ★課題★

「読むこと」  
「書くこと」

## ◎ 例えば. . .

9 (3)

(3) 次の表の①から③は、ある女性に関する現在の情報を示しています。これらの情報を用いて、彼女について説明する英文をそれぞれ書きなさい。

①	出身	Australia
②	住んでいる都市	Rome
③	ペット (pet) の有 (○) 無 (×)	×



<正答例>

She is from Australia.

## ○柏原市生徒の解答状況

	柏原市	全国
①の正答率	44.2%	53.5%

## ○こんな誤答が多かった…

She from Australia.

She froms Australia.

I'm from Australia.

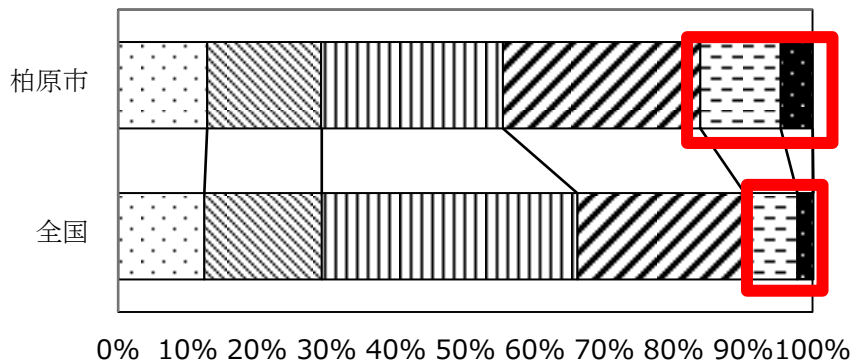


コミュニケーションを目的意識とした  
文法の学び

# (6)児童・生徒質問紙

## ◎学校の授業以外の平日1日当たりの勉強時間

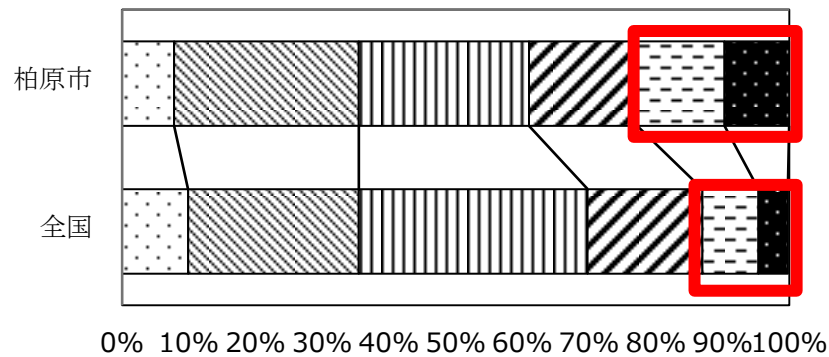
小学校



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90%100%

- 3時間以上
- 1時間以上, 2時間より少ない
- 30分より少ない
- 2時間以上, 3時間より少ない
- 30分以上, 1時間より少ない
- 全くしない

中学校



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90%100%

- 3時間以上
- 1時間以上, 2時間より少ない
- 30分より少ない
- 2時間以上, 3時間より少ない
- 30分以上, 1時間より少ない
- 全くしない

### ★課題★

「30分より少ない」「全くしない」児童生徒の比率が全国より高い

小学生 約1.6倍

中学生 約1.8倍

## ◎ 家庭学習

- ・ 発達段階に応じた家庭学習時間(めやす)

**10分×学年**

[中学1年は7年とし、70分]

- ・ 質の高い勉強環境

テレビ、ゲーム、携帯電話(スマホ)

パソコンなどを遠ざける

※ルールづくり

「家庭学習の手引き」(各学校)を参考に！



<柏原市が取り組んできたこと>

H28策定 かしわらっ子はぐくみプラン  
(第1期柏原市学力向上3ヵ年計画)

④確かな学力の育成を図る授業づくり



**【書く力の育成】**

# 【書く力の育成】

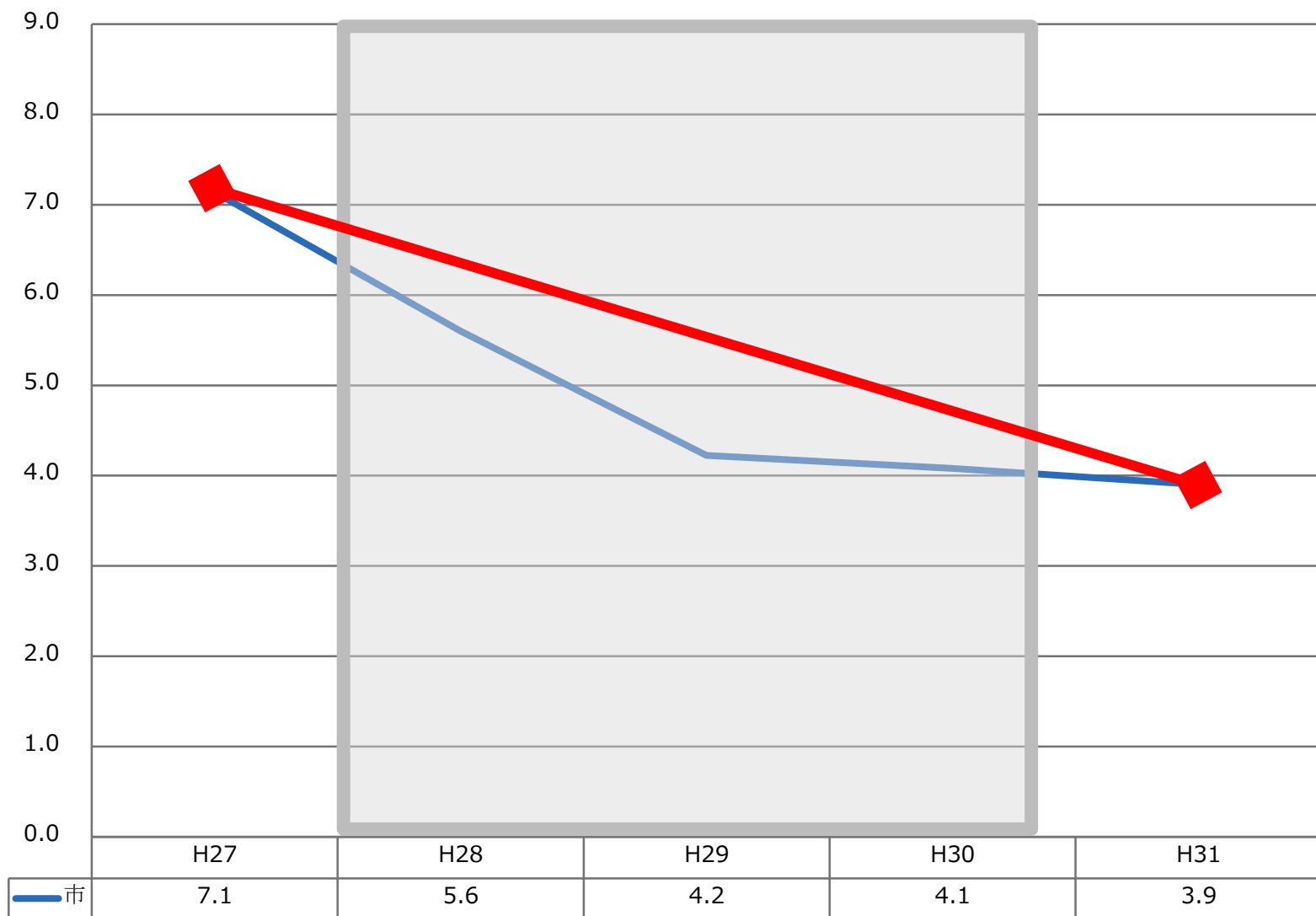
「書く」ことは  
「考える」ことである

今後、新しい学習指導要領による教育へと移行していく中で、  
「活用・表現」という観点から重要

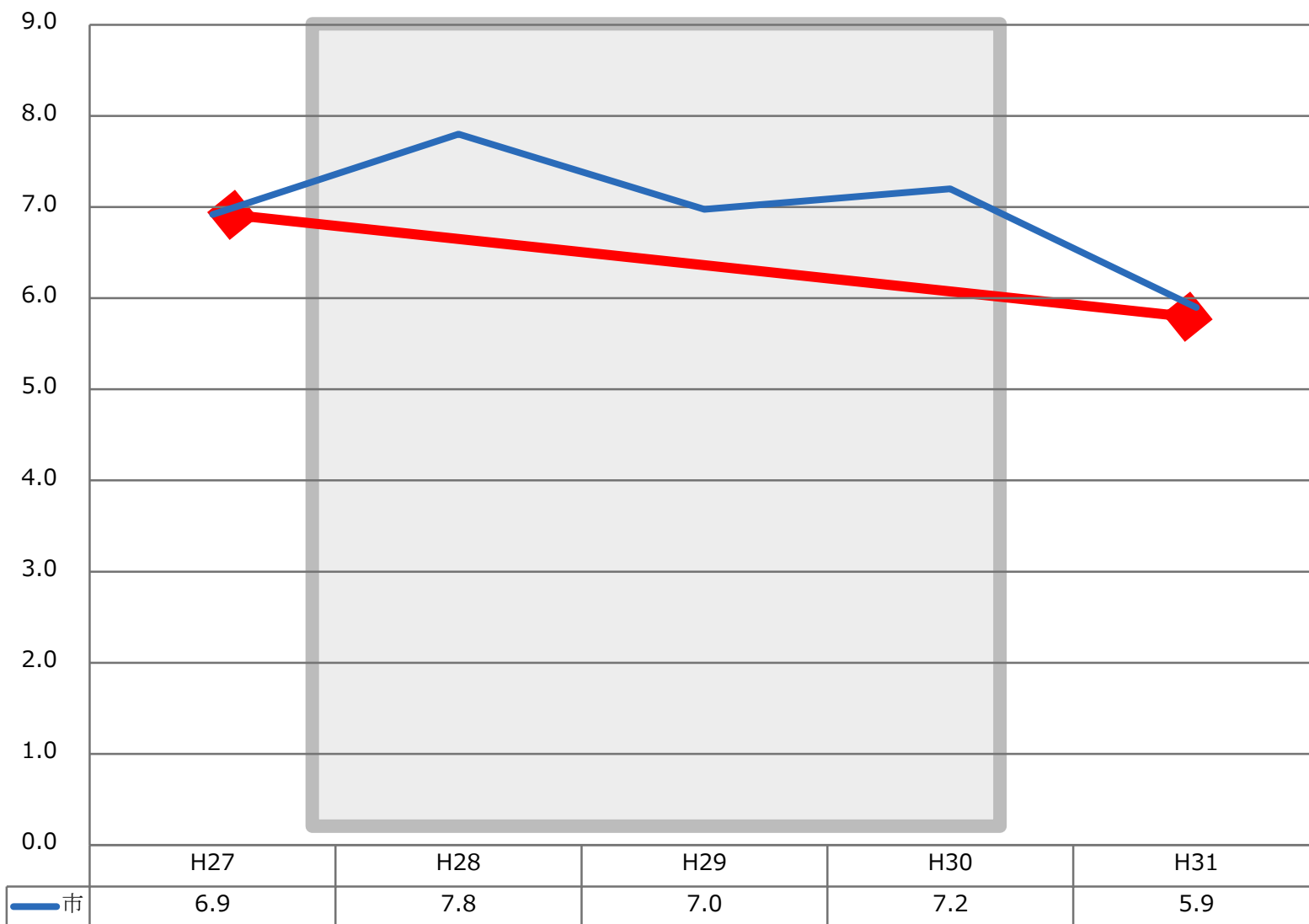
# 学校生活の中で 「書く場面」を！

- ◆全ての教科指導において「書く」活動を意識する。
- ◆各授業のふりかえり、連絡帳の3行日記、行事ごとの作文、読書記録、班会議等の議事録、作品PR、などなど

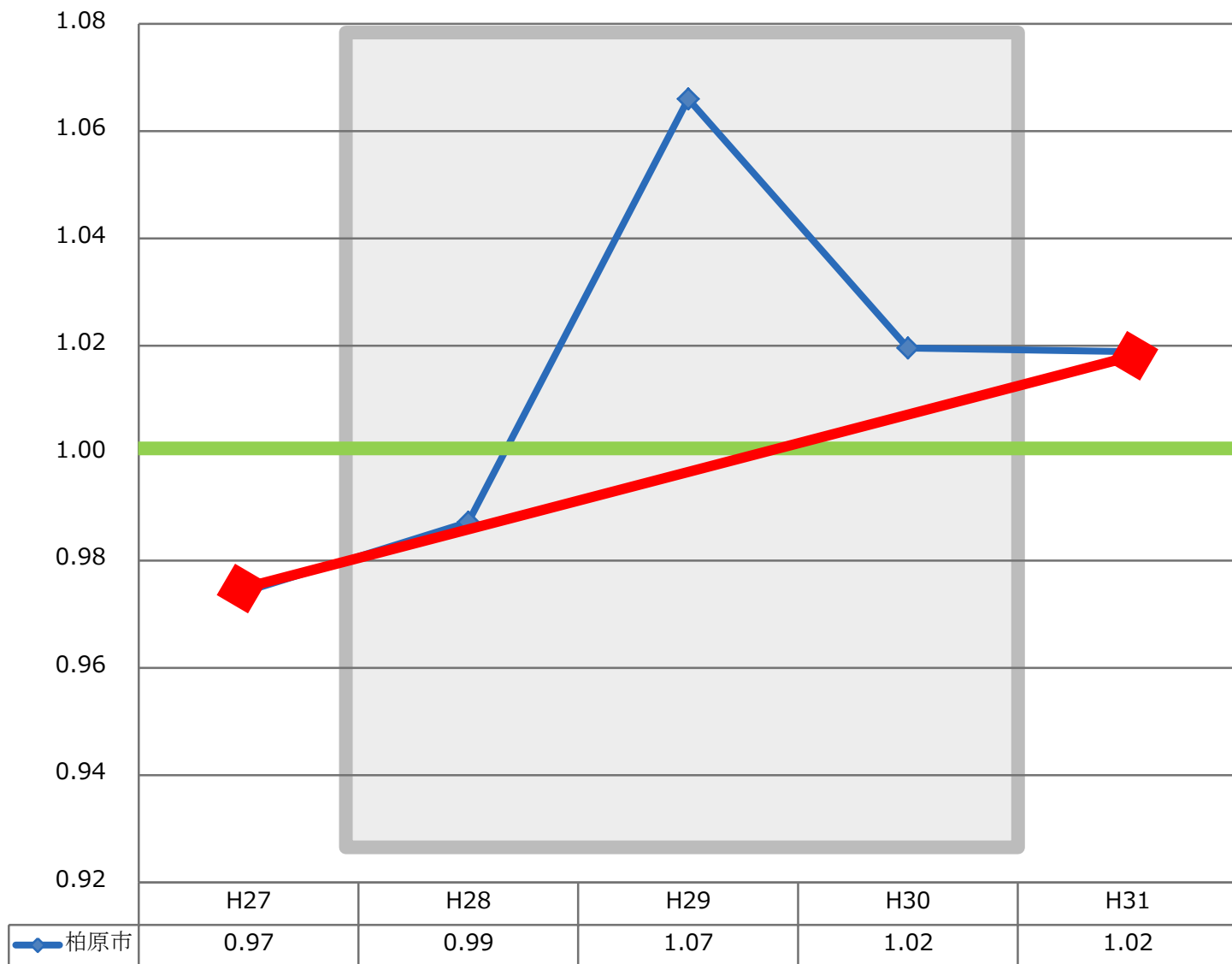
# ◎ 無解答率の推移【小学校】



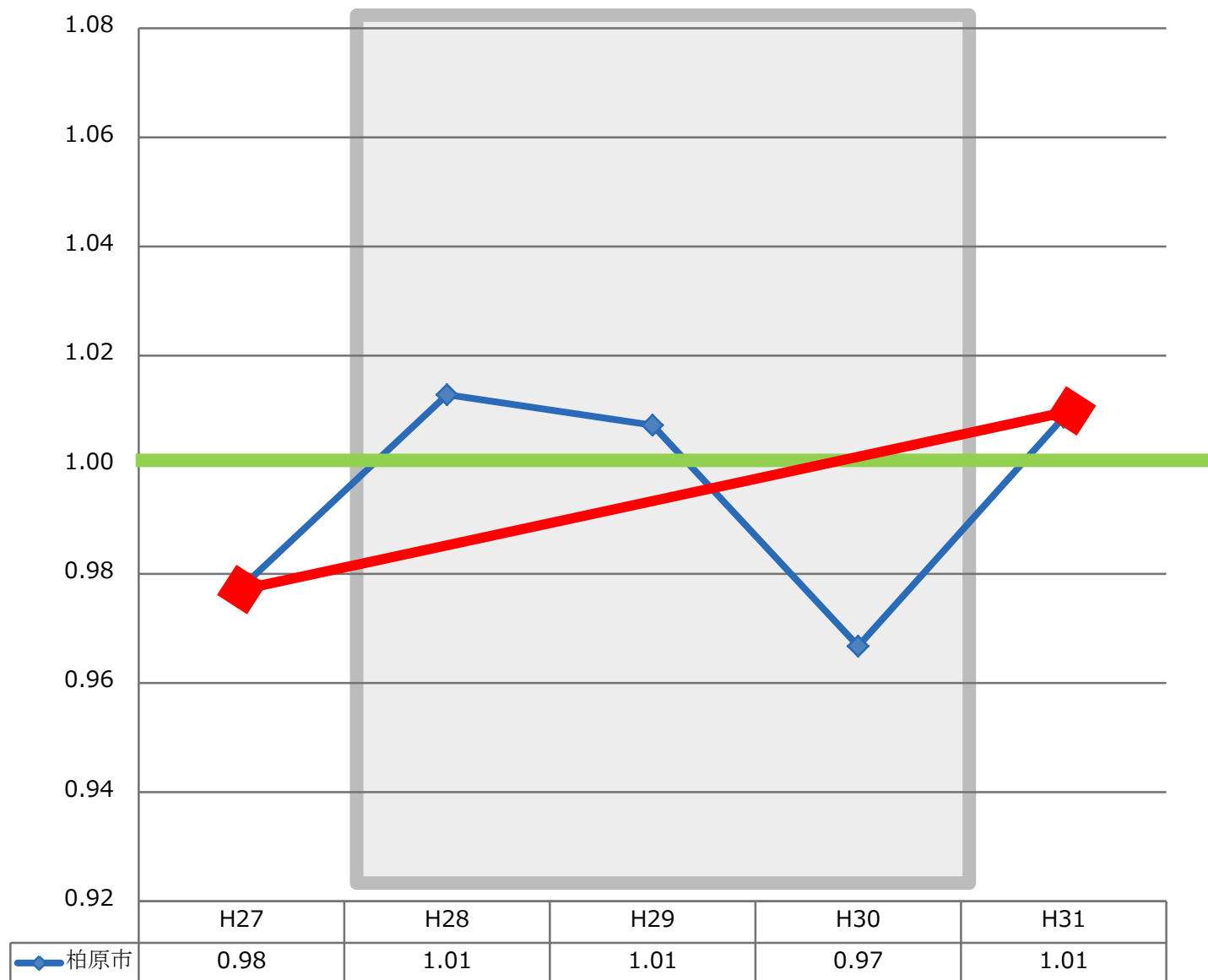
# ◎ 無解答率の推移【中学校】



# ◎ 「書くこと」 正答率の推移【小学校】



# ◎ 「書くこと」 正答率の推移【中学校】



## ②児童・生徒からのメッセージ (分析)

- 「書くこと」に対する抵抗感がなくなった。
- 最後まで問題を解こうとするようになった。
- 問われていることに対する答えを「書くこと」で表現することができてきた。

「書く」取組みの一定の成果が現れている



<今後、柏原市が取り組んでいくこと>

H31策定 かしわらっ子はぐくみプラン  
(第2期柏原市学力向上3カ年計画)

## 取組②

「書く力」 や 「読み取る力」 の向上を  
図る 「わかる授業」 づくり

<今後の「書く力」>

「書く」質の向上

「読む」力

読み取る

何を「書く」か  
何のために「書く」か  
そのために必要な「情報」

文章等を読む

- 語彙力
- 論理的な文章の組立て
- 「言葉」や「資料」の効果

# <今後の「書く力」>

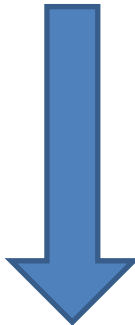
先生が

子どもが

目的意識(ねらい)

「書く」

自分の考えを表現する



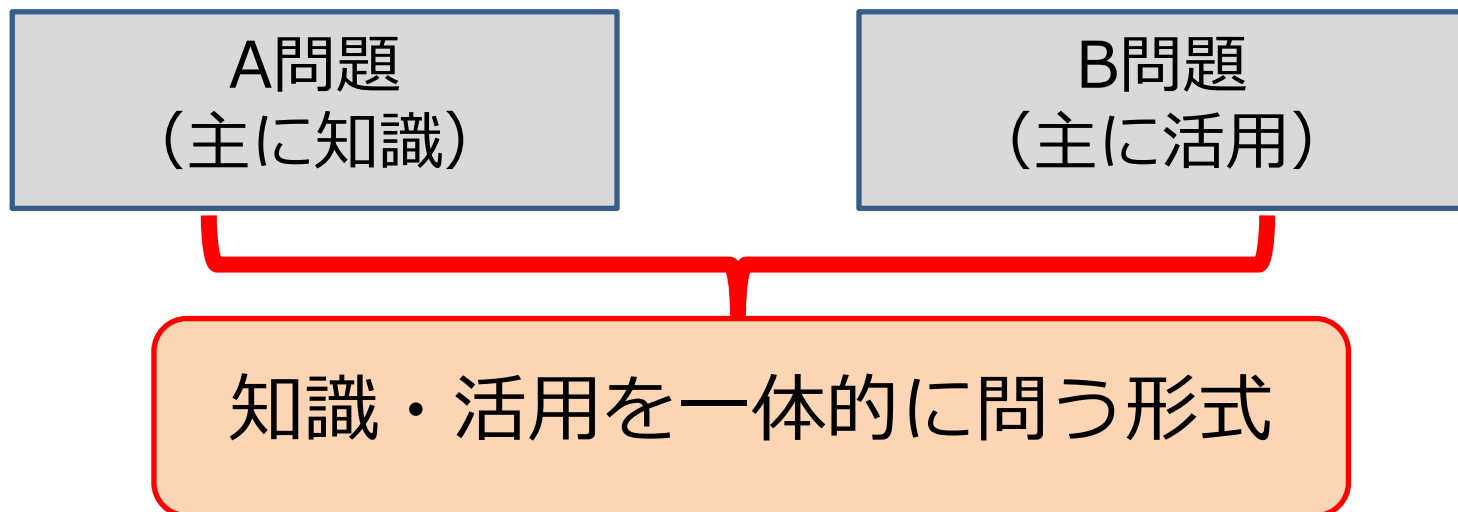
ために

質の高い文章を読む

「読む」

③国（文部科学省）からの  
メッセージ

## ◎ 問題形式



「知識・技能」を別個に扱うのではなく、「活用(思考の流れ)」の中で扱う

## ◎ 国語では…

- ・ 漢字や接続語も文脈に沿って使い方を学習する
- ・ 指導事項を踏まえ、それを身に付けるための適切な(効果的な)言語活動を位置付ける
- ・ 言語活動を見失わない単元計画  
(子どもにも“見える”形で)
- ・ 身に付けたい力の系統性

## ◎算数、数学では…

- ・身近な事象を、児童生徒が自ら数学的にとらえ、問題を見いだして解決していくことができるような課題設定。

- ・ 3つの場面を意識

↓  
事象における問題を数学的にとらえる  
問題解決に向けて、構想・見通しを立てる  
問題解決の過程や結果を振り返って考察する

## ◎ 英語では…

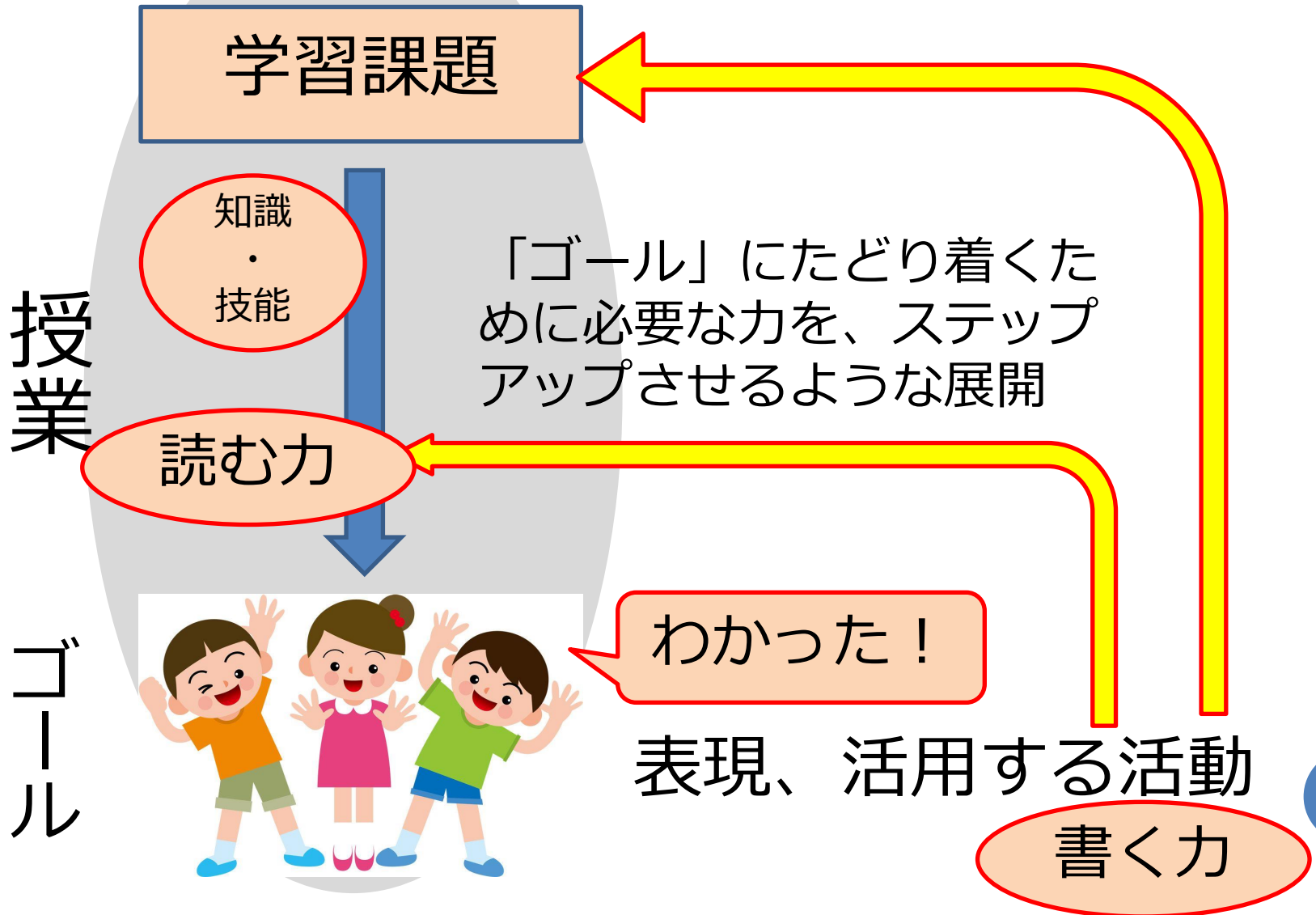
- ・ 読んだり書いたりする活動では、目的・場面・状況に応じて**概要や要点**をとらえる
- ・ 文法はコミュニケーションを目的とした活動の中で習得
- ・ I You 以外の主語を用いて書く機会



## ④まとめ

# <今後の授業づくり>

意味や目的を子どもが  
実感できる課題設定



# 《今後取り組んでいくこと》

## 教育委員会

- ◆教員の指導力育成 効果的な研修の企画・運営
- ◆学力向上対策委員会にて、市の学力状況や学力向上に向けた取組みを検討
- ◆学力向上推進委員会にて、授業力や学校研究推進力の向上
- ◆全国学力・学習状況調査や中学生チャレンジテスト、かしわらっ子はぐくみテストの結果分析

# 《今後取り組んでいくこと》

## 教育委員会

- ◆優れた実践を市内に広める  
先輩教員から若手教員へ  
大阪府スクールエンパワーメント推進事業  
「確かな学び」推進校による学校公開
- ◆「書く力」「読む力」の育成をねらった具体的な  
施策の提案、実施
- ◆家庭学習習慣の定着に向けた取組みの好事例収  
集、啓発

# 《今後取り組んでいくこと》

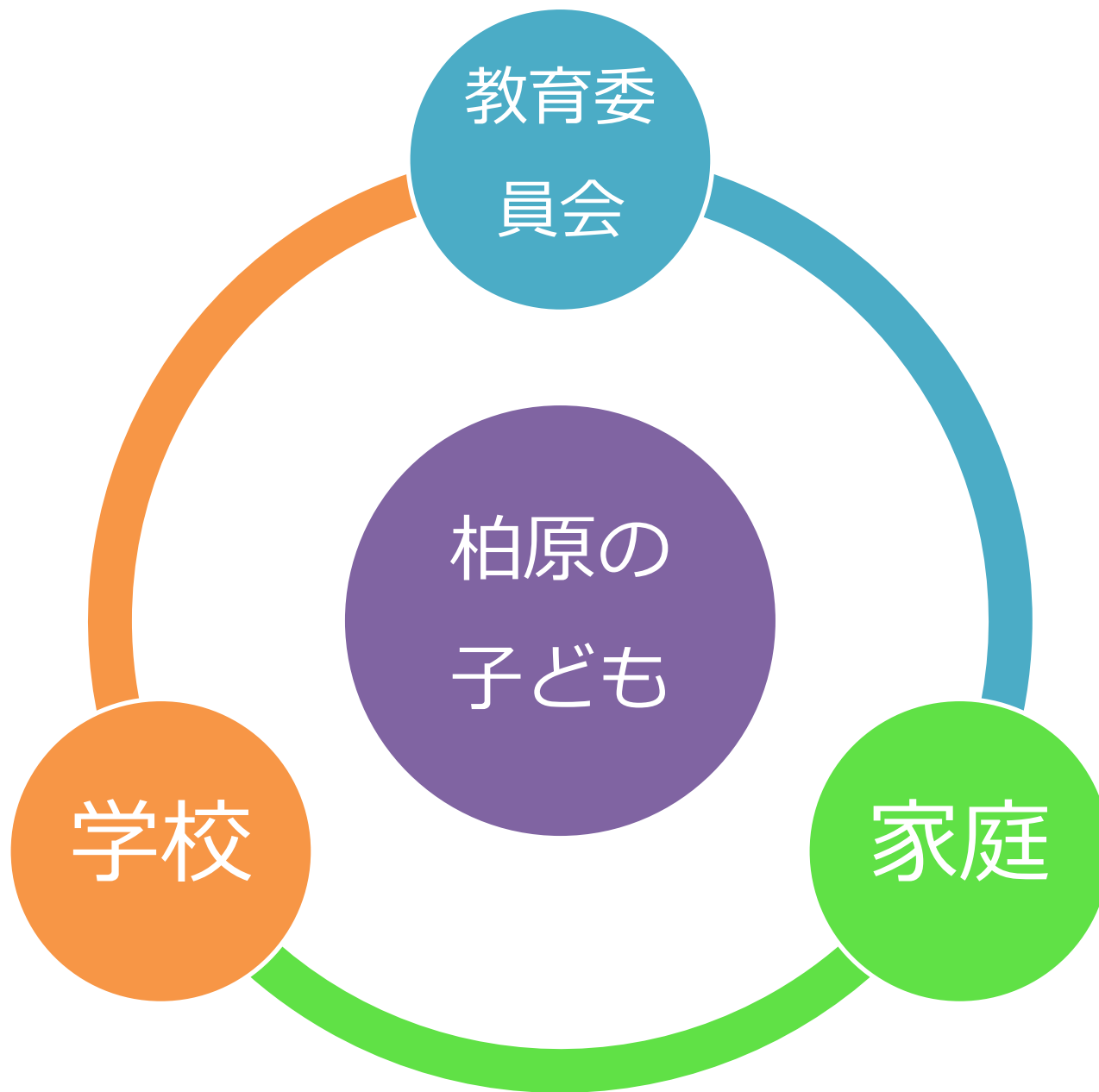
## 学校

- ◆教員の授業力向上 校内研修や授業研究会
- ◆全国学力・学習状況調査やかしわらっ子はぐくみテスト、中学生チャレンジテストの分析結果をもとにした授業改善、各取組み
- ◆教科横断的、組織的な「書く」活動
- ◆系統性を意識し「つけたい力」を明確化
- ◆家庭学習習慣の啓発

# 《家庭にお願いすること》

## 家庭

- ◆ 家庭学習習慣の定着
- ◆ 基本的な生活習慣の定着
- ◆ スマートフォン、ゲーム等      メディアの使い方  
    についてのルール作り



# HPへの公開について

- 平成31年度  
全国学力・学習状況調査の結果

- 本日の報告資料

柏原市教育委員会指導課のHPへ